



<プログラム>

- 指揮 千葉了道
- I 「三つのモテット」より メンデルスゾーン 作曲
 四重唱 S. 横地祐子 (客演)
 A. 西村牧子
 T. 石井芳雄 (客演)
 B. 東海林隆幹
- II Jauchzet dem Herrn alle Welt
(全地よ歓びの声あげ)
- III Mein Herz erhebet Gott, den Herrn
(こころ主をあがめ)
- II 「開びやく歌」(大野村開拓地に捧げるカンタータ)
吉田慶治 作詞/千葉了道 作曲
 指揮 千葉了道
 賛助出演 岩手大学合唱団
 管弦楽伴奏 県民オーケストラ 盛岡室内合奏団
- III 日本の歌・世界の歌
 五木の子守歌
 あんたがたどこさ
 通りゃんせ
 橋のうえで フランス民謡
 マギー若き日の歌を ブッターフィールド 曲
 夜道 (ストラパンパ) チェコ民謡
 母なるヴォルガを下りて ロシア民謡
- IV 混声合唱「風紋」 岩谷時子 作詞/石井敏 作曲
 客演指揮 石井 敏
- 第一章 風と砂丘
 第二章 あなたは風
 第三章 おやすみ砂丘
 第四章 風紋

<団員名簿・出演者名簿>

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	千葉了道
ピアノ	
委員長	石川 稔
副委員長	
会計	
パートリーダー	
Sop.	岩白 泉沢 紀久子 江原 京枝子 八重樫 富喜子
Alt.	吉田 陸郎一
Ten.	
Bas.	照井 隆

<主な活動> 昭和49年 1974年

8/3(土) 移動芸術祭 (陸前高田)

< Sop >							
○岩太門	泉田口	紀和敬	久子子	佐々木	木沢	真貴子	貴子子
○金山	矢野	妙敏	子子子	○白高	新橋	まき千	子子子
会工後	藤藤	由美	子子子	新橋	沼本	君順	江子子
◎駒	木美和	史子	子子子	嶋藤	山井	房明	子子子
< Alt. >							
	伊内	藤康	子子子	西村	村牧	英子	子子子
○江大	藤原	喜代	子子子	◎船越	越英	恵子	子子子
○金大	山渡	京子	子子子	◎八重	樫富	喜子	子子子
○金大	山渡	芳久	子子子	○八重	樫富	幸子	子子子
高佐々	木橋	由敏	子子子	渡羽	々々	幸幸	子子子
< Ten. >							
	阿大	部正	子子子	福松	田岡	清	子子子
	佐橋	文四	子子子	◎目朗	時政	政昭	子子子
	玉藤	敏哲	子子子	○吉夫	田睦	史政	子子子
	馬場	敏光	子子子	< Bas. >			
◎石牛	川越		子子子	◎金矢	光	紀	子子子
◎牛岡	崎崎	充一	子子子	◎佐藤	光	隆	子子子
岡滝	沢田		子子子	○照海	井隆	隆	子子子
横	田		子子子	◎印 役員 ○印 パートリーダー			

第9回 北声会合唱団定期演奏会

客演指揮 石井敏 (全日本合唱連盟理事長・作曲家)
指揮 千葉了道
伴奏 県民オーケストラ・盛岡室内合奏団
賛助出演 岩手大学合唱団

とき 11月19日(火) pm 6:30開演
場所 岩手県民会館大ホール

後援 ■岩手県教育委員会 / 岩手日報 / 岩手放送



(石井 敏氏)



石井敏先生略歴

創作作曲家、石井敏氏の長男として生まれ、武蔵野音楽学校の卒業後、ヨーロッパ国立音楽院に入学、ピアノ、レーマン、アイヒホルン、ナルフ、等に学び1954年帰国、その年に「交響詩」を発表以来、オペラ、管弦楽、室内楽、合唱曲、歌曲等と幅広い活動を続けられ現在愛知芸大作曲系主任教授、全日本合唱連盟理事長の要職にある。

合唱曲では「枯木と太陽の歌」等名作が多く、今回演奏の「風紋」も異色ある作品である。

ごあいさつ

指揮者 千葉了道

定演第9回となりました。今年は例年よりきびしい練習をした、という実感をもっています。そして、いつもの事ながら、音楽は深くむずかしいものだという感想もいつそう強くなりました。幸い今回は、石井敏先生をお迎えして先生作曲の「風紋」を指揮していただくことになりました。何回も練習していただき、音楽の深さが身にしみて分ったという感じでした。先生は本当に多忙の毎日なのですが、お断りしたところ「なにがなんでも行く」という誠意に感激的な御快諾で局長一用快歌をいただきました。それにしても先生の体にふさわしい演奏をしたいものです。

もう一つ稍冒険的でしたが、私の作品「園びやく歌」をオーケストラ伴奏によって演奏することにしました。この曲は、かつてピアノ伴奏で演奏したことがありますが、長い間版作を続け、いつとここまで漕ぎつけたものです。はじめてのオーケストラレコーディングで未熟なものです、ここから更に勉強したいと思います。

いつもあたたかく御後援下さいます皆様に、心から感謝し又、御指導下さいました石井敏先生に、深く感謝申し上げてごあいさつと致します。

委員長 石川 悠

このたび、作曲家、石井敏先生を北声会合唱団としてはじめての中央からの客演指揮者としてお招きし、演奏会をもつにいたつたことを大変うれしく思います。

このことは団の力量がきびしく試される機会として大きな意味をもつものであります。以前に「風紋」を聴き、その難かしさに苦しみながらも、歌うほどに不思議な曲の魅力にとりつかれてしまったわけです。

石井先生は、愛知芸大の作曲主任教授、そして全日本合唱連盟の理事長という要職でお忙しい中を、私たちのために、この定期演奏会での指揮と前3回にわたる御指導を、快くお引き受けいただき、大変うれしい気持で一ぱいです。何とか皆さまに満足いただける演奏をしようと、2回ほど合唱練習もしました。構一杯歌いたいと思います。

皆様からの御後援、御支援に感謝すると共に、今後の趣い御指導をよろしくお願いたします。

